

令和8年度 入学式を挙行

4月7日、永平寺キャンパス講堂で令和8年度入学式を挙行了しました。今年度は、学部547名（編入学含む）、大学院68名の計615名が入学し、新たなスタートを切りました。



まちなかに新たな学びの場

福井駅前アオッサに整備予定の「福井まちなかキャンパス」は現在、開設に向けた準備が進んでいます。1階には講義室や情報演習室、インベーショクロス（学生ホール）を配置し、学生の学びと交流の場を整備します。まちなかに開かれたキャンパスとして、県民との交流や情報発信の拠点を目指します。



福井駅で6学部体制スタートの新PR動画を公開

ハピラインふくい・福井駅改札前のデジタルサイネージで、本学の最新PR動画を公開中です。「時代は、福井県立大学！」の印象的なナレーションとともに、6学部のスタートや、福井を素材にしたワクワクする学びの魅力を発信しています。駅をご利用の際は、ぜひご覧ください！



2027年に「福井県立大学 Global Gateway」が誕生

実践的な語学力や多文化理解等、国際感覚を身につけたグローバル人材の育成の場として、2027年4月にオープン予定の「福井県立大学 Global Gateway」の整備を開始しました。ワールドカフェもより身近に、過ごしやすい空間としてリニューアルします。お楽しみに！



地域政策学部の記念すべき第1期生となった74名と教員18名



新設の地域政策学部 第1期生が親睦深める

入学式に先立ち、4月2日に新入生向けのオリエンテーションが行われ、今年度から新設の地域政策学部では、第1期生たちが初めて一堂に会しました。学部に関するガイダンスのほか、自己紹介やグループワークを通じて親睦を深め、新たな学びへの第一歩を踏み出しました。

福井県立大学
公式 SNS

ぜひフォローしてください！



FPU NEWSについてご意見・ご要望をお寄せください。抽選で県大グッズプレゼント！



地域政策学部 第1期生始動

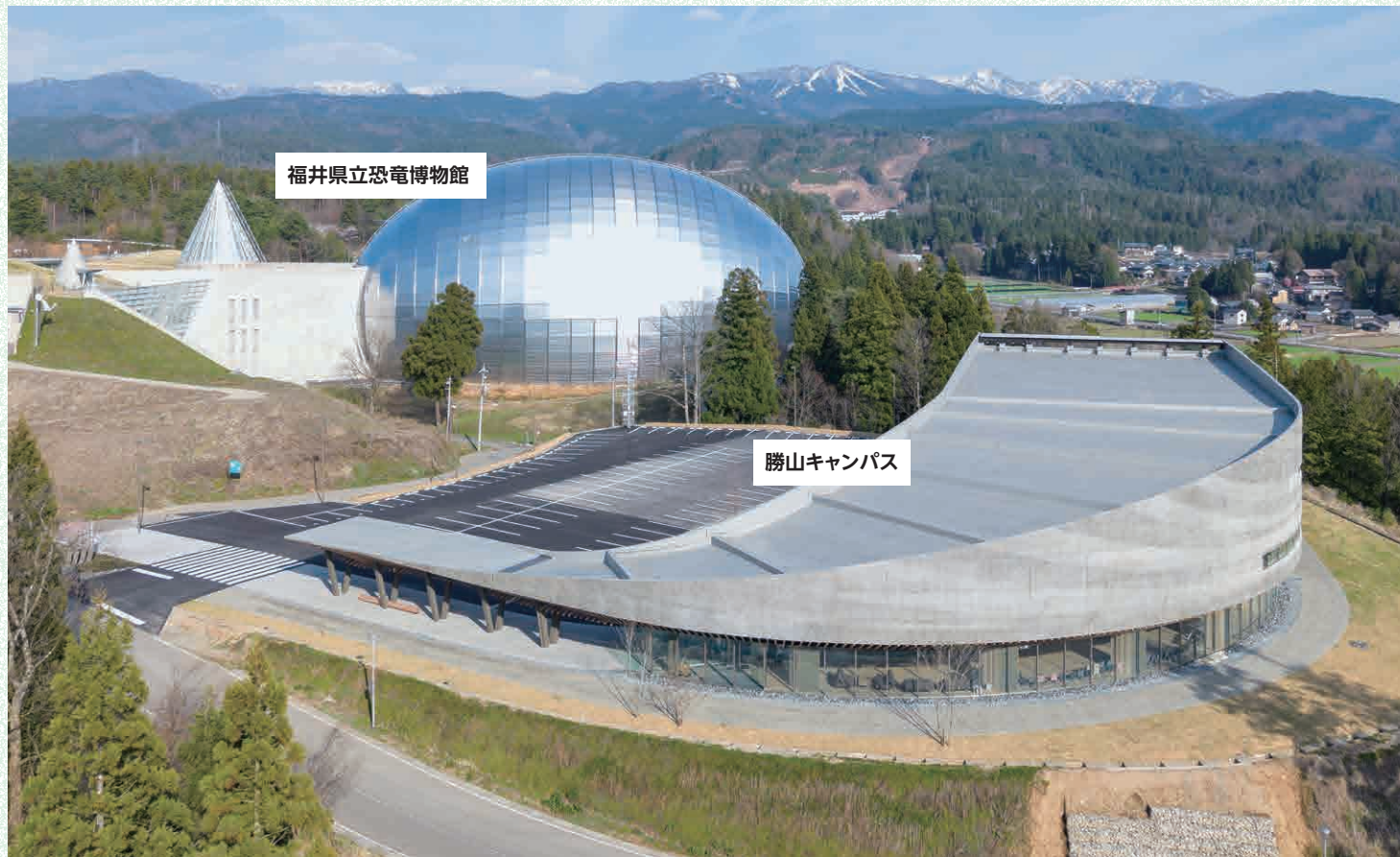
- 勝山キャンパス開設
- 永平寺キャンパス
その居場所、もう見つけた？
- クラブ&サークル紹介
- 新任教員紹介



「恐竜学」の未来を創る2026年春 勝山キャンパス開設!

恐竜学部恐竜・地質学科の本拠地となる勝山キャンパスが2026年4月から供用を開始しました。

福井県立大学の5つ目のキャンパスとして誕生した勝山キャンパス内の施設を紹介します!



福井県立恐竜博物館

勝山キャンパス

隣接する福井県立恐竜博物館と施設や標本等の相互利用による連携や、研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有も行き、博物館と一体化した新しい教育、研究システムを目指します。

恐竜学の世界的教育・研究拠点へ

勝山キャンパスは、かつやま恐竜の森に佇む「銀の卵」から生まれた巨大な恐竜をモチーフにデザインされました。時間軸を感じさせる地層の外皮を纏った建築は、研究施設が集約された「あたま」、学生や教職員を包み込む「おなか」、施設の玄関口である「しっぽ」から成り立つ有機的なかたちとなっていて、恐竜学部の学びの場として唯一無二の空間を創り出しています。また、県産スギ、越前焼、越前和紙、笏谷石、三軸織などのあたたかみのある福井の素材を随所に用いており、福井の技術や魅力を感じられる工夫が施されています。



勝山キャンパス開設記念式典を挙行了しました

4月6日、勝山キャンパスの供用開始を記念した式典を挙行了しました。岩崎行玄学長によるあいさつに続き、石田嵩人福井県知事、田中三津彦福井県議会副議長、水上実喜夫勝山市長より祝辞を頂きました。

記念式典の後、施設内覧会が行われ、西弘嗣恐竜学部長や神谷隆宏恐竜・地質学科長による施設案内が行われ、勝山キャンパスで展開される教育・研究内容の説明や今後の展望などについて紹介がありました。

さらに、内覧会終了後には、1期生と2期生、教員による集合写真を撮影しました。



開設記念式典 テープカット



恐竜学部 第1期生・第2期生・教員による集合写真

施設紹介



アブドミナルホール

1階から3階まで吹抜けを通して垂直方向につなげつつ、屋外の芝生広場とも水平方向につながります。これにより、学生や教員、さらには地域の方々との有機的な交流を育む場として利用することができます。

化石クリーニング室

研究の第一歩は、標本から。発掘現場から見つかった化石は、丁寧なクリーニングを施すことで、より詳細な情報を引き出せるようになります。化石クリーニング室は、現場から持ち込まれた化石を研究や教育に活用しやすい状態に整える、重要な役割を担っています。

CT解析ラボ

大型CTを用いることで、貴重かつ繊細な標本を壊さず内部を可視化することができます。この手法は、岩石の中の微細な構造の観察を可能にし、新たな発見をもたらします。新キャンパスに導入したCT機器を使うと、1mを超える大型化石をスキャンすることが可能になります。

永平寺 キャンパス

その居場所、 もう見つけた？



共通講義棟の中心にある「アトリウム」。緑に癒やされる空間です。

まずは永平寺キャンパスで、学生一人ひとりが自分らしく過ごせる「居場所づくり」を進めています。

日々の学生生活を、より快適に、より心地よく。キャンパスは少しずつ進化を重ねています。

友だちと話したり、ひと息ついたり。授業の合間に、なんとなく立ち寄れる場所。そんな「ちょうどいい居場所」が増えてきました。

大きく変わったわけじゃない。でも、ふとした瞬間に「ここ、いいな」と感じる。

——その変化、もう気づいていますか？

少しだけ視線を変えてみると、まだ知らない「自分の居場所」が見つかるかもしれません。



2 共通講義棟 2階



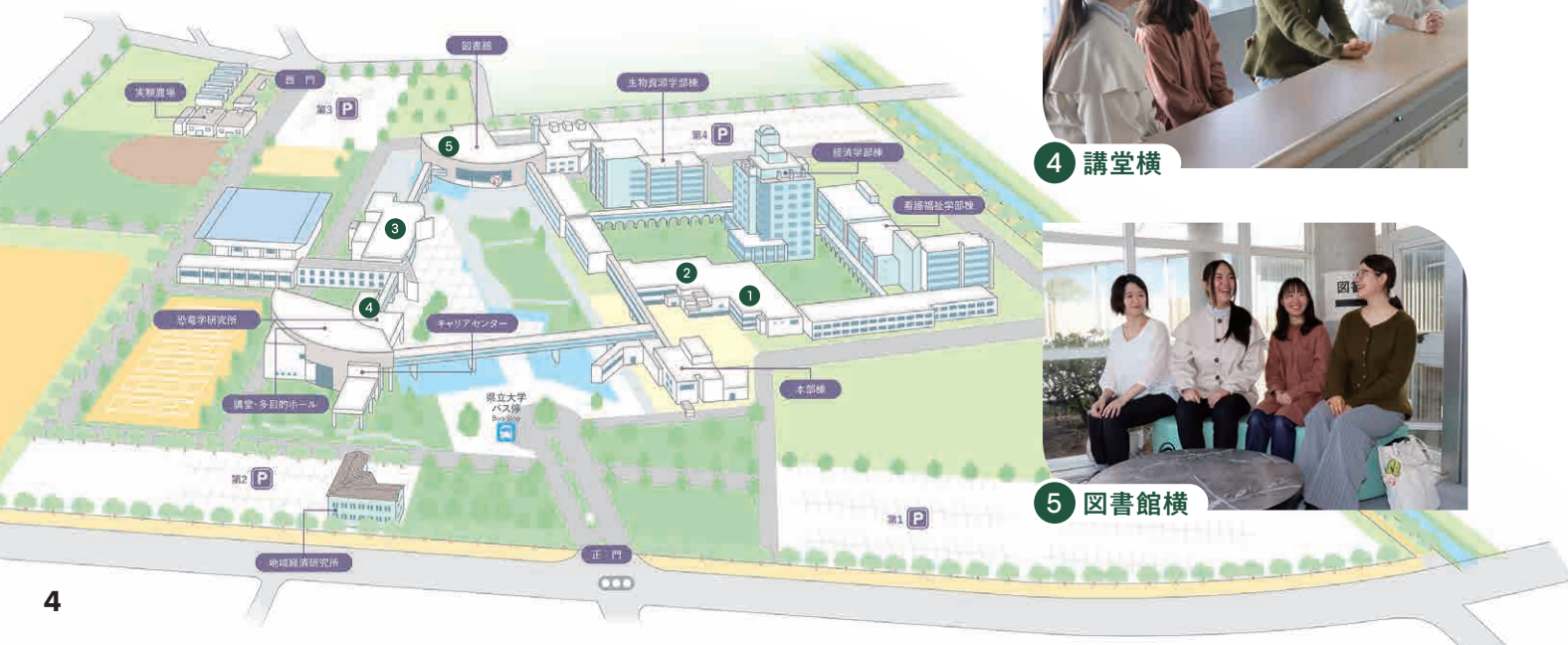
3 学生会館 2階



4 講堂横



5 図書館横



成城大学と連携、地域政策学部の国内留学先に

本学と成城大学との間で、連携に関する協定の締結式を行いました。本協定は、教育、研究、地域貢献、産学連携、学生及び教職員の交流において相互に協力し、地域社会の発展及び人材育成に寄与することを目的としています。

本協定に基づき、成城大学社会イノベーション学部とは、本学地域政策学部の国内留学先として、学部間での覚書を締結する予定です。



健康生活科学研究科 博士後期課程 第1期生、修了

健康生活科学研究科第1期生4名が修了しました。研究は超重症心身障がい者ケア、知的障害とASD思春期児の性、統合失調症とバイオマーカー、虚血性心疾患患者の睡眠と身体活動など多岐にわたります。本研究科はこれからも看護学と社会福祉学を統合した健康生活科学を探究しWell-beingに向けた共生社会に貢献する研究者を育成します。



福井で働くことを考える就職ガイダンス

キャリアセンターでは就職支援のため、就職ガイダンスを開催しています。初回は福井県および福井新聞社に協力いただき福井県での暮らし・働くことについてなど今後の就職活動の参考になるお話や先輩学生からのアドバイスを伺いました。今後も定期的に開催していく予定です。



丸山准教授らの研究が権威のある科学誌に掲載

生物資源学科の丸山千登勢准教授らは、微生物によって生産される抗生物質ストレプトスリン (ST) の構造多様性を拡張する新しいケモエンザイム手法を開発し、その成果が3月13日に世界的権威のあるJournal of the American Chemical Society誌 (IF = 15.7) に掲載されました。



医療用機器で国内シェア1位の企業から学ぶ

1月21日、経済学部・木野龍太郎教授のゼミにて、医療用キャビネット等で国内シェア1位のサカセ化学工業株式会社(福井市)を、3年生8名が訪問しました。製品展示室や製造現場、試験室等を見学し、同社の高い品質や技術力、モノづくりへのこだわりについて学んだ後で、同社に勤務する本学卒業生も交えて活発な意見交換が行われました。



© 大瀬千空

活マサバのアニサキス調査で食中毒対策の新知見

先端増殖科学科の瀧澤准教授と末武教授は、活マサバを漁獲直後に解剖し、アニサキスの死後移行の影響を排除して寄生状況を調べました。本調査により、食中毒原因種A. simplex s.s.が活魚の腹側筋に存在し得ることを示しました。また、福井近海でも同種の検出頻度が高いことを明らかにし、アニサキス食中毒のリスク低減に役立つ知見を得ました。

令和7年度 学位記授与式挙

3月24日、永平寺キャンパス講堂で令和7年度学位記授与式を挙りました。今年度は、学部454名、大学院55名の計509名が本学での学びを修め、岩崎行玄学長から各学科・専攻の代表者に学位記が授与されました。



学生表彰受賞者

併せて、学業成績や社会活動などで特に顕著な功績を上げた学生に対して学生表彰を行いました。



成績優秀賞 各学科卒業生から選出された成績優秀者です。

前川 心美(経済学部 経済学科)	塩治 采音(生物資源学部 創設農学科)	西端 比那(看護福祉学部 看護学科)
田中 雄大(経済学部 経営学科)	安居 里奈(海洋生物資源学部 海洋生物資源学科)	柳澤 侑澄(看護福祉学部 社会福祉学科)
高嶋 泰地(生物資源学部 生物資源学科)	山本 冴夏(海洋生物資源学部 先端増養殖科学科)	

優秀論文賞 博士前期課程(修士課程)各専攻修了生から選出された論文優秀者です。

SHU XINYUE(経済・経営学研究科 地域・国際経済政策専攻) 貿易プラットフォームと経済政策の効果	岡安 諒真(生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻) アカエイ <i>Hemirygion akajei</i> における ステロイド合成酵素の転写制御機構
小林 稀良(経済・経営学研究科 経営学専攻) 中古住宅市場における買取再販モデルの情報経済学的考察 —シグナリング行動と市場効率性の理論的検証—	A HA LA QI(看護福祉学研究科 看護学専攻) マウスにおけるタウリンの腸内細菌と胆汁酸代謝を介した全身作用

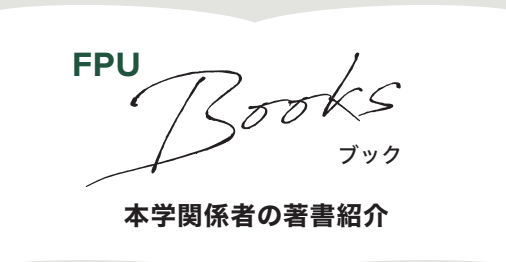
天谷 理香子(生物資源学研究科 生物資源学専攻)
微生物を用いたキチンオリゴ糖製造技術の開発および
酸加水分解キチンオリゴ糖のプレバイオティクス評価

社会活動の部

ボランティア活動等において社会的に
特に高い評価を受けた学生が受賞します。

献血サークル Open the Sesame

学内の献血協力の呼びかけを積極的に行い本学の日本赤十字社「銀色有功章」受賞に多大な貢
献をしました。福井県学生献血推進連盟の一員として若年層への献血促進にも尽力しています。



メンタルヘルス福祉教育ガイドブック



看護福祉学部 岡田 隆志 教授 編著
(へるす出版、2026)

メンタルヘルス福祉教育とは、メンタルヘルスに関連する福祉課題に焦点を当て、その発生の背景や要因を理解し、解決や予防に向けた方策を模索・実践する教育アプローチである。学校や福祉現場、地域の団体などのフィールドで取り組む際の手引きとして、ご活用いただきたい。

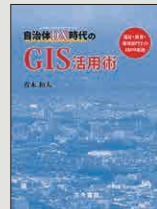
きれいで豊かな海への挑戦—瀬戸内からの提案—



海洋生物資源学部 山本 昌幸 教授 分担執筆
(恒星社厚生閣、2026)

瀬戸内海は「きれいな海」になった一方で、貧栄養化や水温上昇により、ノリ養殖の不作や水産資源の減少が課題となっている。本書は自然科学・人文社会科学の具体的な研究成果に基づき、「きれいで豊かな海へ」の道筋を提案する。

『自治体DX時代のGIS活用術—福祉・教育・環境部門でのEBPM実践—』



地域政策学部 青木 和人 教授 単著
(古今書院、2026)

自治体で進むDX(デジタル化)の中で、地図やデータをどう政策に活かすのかを解説した一冊。福祉や教育、環境分野の事例を通して、データを使って根拠ある政策を考える「EBPM」の実践方法を紹介。行政や地域づくりに関心のある学生にもおすすめである。

老年看護過程+病態+生活機能関連図第5版



看護福祉学部 笠井 恭子 教授 分担執筆
(医学書院、2025)

高齢者に多い睡眠障害について、その原因や病態、診断・治療の考え方から、日常生活を支える看護の実践までを体系的に解説。医学的理解と生活支援の両面から、よりよい睡眠を支える視点を示している。

制度・戦略・組織の理論の潮流



地域政策学部 北島 啓嗣 教授 分担執筆
(中央大学出版部、2025)

第五章を分担執筆。福井IT企業フィッシュバス社を事例に、プラットフォームが隆盛する時代において、地方企業がいかに戦うかを考える。また「環境問題」をいかに収益化するかについて論じた。

福井県立大学つぐみ賞 受賞者

学術研究や課外活動等で活躍した学生・団体を表彰する「つぐみ賞」受賞者の皆さんです。 ※学年は受賞時点のもので

生物資源学部 生物資源学科 4年 徳尾 日向子さん
第62回根研究集会において、イネが環境変化を感知し水田で生き抜くために根の形態を変化させる仕組みを探る研究をポスター発表し、優秀発表賞を受賞。●演題：「イネにおける窒素欠乏を介したRadical Oxgen Lossバリア誘導に関する環境因子の探索」

生物資源学研究科 生物資源学専攻
古生物学領域 博士前期1年 青山 祐亮さん
日本古生物学会第175回例会において、学生ポスター賞を受賞。●演題：「節足動物の脱皮に伴う外骨格の成長パターン—Cythere 上科(貝形虫類)を例に—」

海洋生物資源学部
海洋生物資源学科 3年 待井 優花さん 築山 佳伶さん

国際誌「International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology(IJSEM)」において、1年次のフィールド演習で阿納海水浴場から単離した細菌が新種『Vibrio sabulosilitoris(砂浜)』として共著論文で正式報告された。●論文タイトル：「福井県の砂浜から単離したピブリオ科のアガリボランスクレード(寒天分解群)に属する海洋性細菌の新種 Vibrio sabulosilitoris」

海洋生物資源学部
先端増養殖科学科 4年 石田 律貴さん 2年 新井 日向子さん

小浜劇場復活プロジェクトに参加し、映画祭の企画・運営と映像記録を通じて映画文化の記憶を継承する活動に取り組んだ。

生物資源学部 生物資源学科 2年 酒井 春音さん
所属する鯖江市ソノーレ・ウィンドアンサンブルが、第66回北陸吹奏楽コンクールで金賞・北陸代表に選出され、第73回全日本吹奏楽コンクールで銅賞を受賞。

男女バドミントン部
生物資源学部 創設農学科 4年 松井 咲来さん 1年 佐藤 海翔さん
看護福祉学部 看護学科 1年 池田 輝 さん

佐藤・松井ペアが北信越学生選手権混合ダブルスで創初優勝、佐藤・池田ペアも男子ダブルス準優勝。佐藤・松井ペアは全国大会出場権を獲得し、全日本学生選手権に初出場。

【経済学部 北島ゼミゼロ活チーム】
経済学部 経営学科 3年(代表) 加福 龍之介さん、
(メンバー) 中川 茜さん 永棹 泉希さん 廣濱 綾乃さん
産学官金連携イベント「Matching HUB Hokuriku」の学生ビジネスアイデアコンテストでファイナリストに選出され、3つの企業賞を受賞。●プラン名：『ゼロ活～サブスクー括解除サービス～』

地名はどのように決まるのか—国連による「地名の標準化」と日本の課題—



地域政策学部 三橋 浩志 教授 分担執筆
(古今書院、2025)

国連は「地名の標準化」を提唱し、ガイドラインを示している。地名を巡る課題、制度整備などを考えるための1冊。「第11章 学校教育の中での地名課題—「地名の暗記」から「地名の意味」を学ぶ教育へ—」を担当。

『環境適応のホモ・サピエンス史—アジア狩猟採集民からの視点』



地域政策学部 加藤 裕美 准教授 分担執筆
(東京大学出版会、2026)

人類が歴史的にどのような環境適応をおこなってきたのか、アジアの狩猟採集民の視点から述べた一冊。ボルネオ島の狩猟採集民の物質文化や民族間関係について論じている。

「地方創生2.0」対話フォーラム 学生パネリスト10名
経済学部 経済学科 3年 酒井 慎太郎さん
経済学部 経営学科 4年 上田 侑来さん
生物資源学部 生物資源学科 4年 宮下 妃海さん

生物資源学研究科 生物資源学専攻 博士前期 1年 榎 虎怜さん
海洋生物資源学部 海洋生物資源学科 3年 中村 心海さん
海洋生物資源学部 先端増養殖科学科 3年 眞壁 喜一郎さん
看護福祉学部 看護学科 2年 大谷 爽斗さん
看護福祉学部 社会福祉学科 4年 増永 晴香さん
恐竜学部 恐竜・地質学科 1年 森 宗太さん 吉川 文音さん

学生10名が、本学開催の対話フォーラム後の対談にパネリストとして参加。各分野の代表として地域課題への実践的提案を行い、建設的議論を通じて地域の未来を考える場づくりに貢献した。

【魚包(ウオパオ)】
海洋生物資源学部 先端増養殖科学科 1年
戸潤 侑哉さん 藤川 蒼空さん 四谷 宗太郎さん

学生団体「魚包(ウオパオ)」が未利用魚の消費促進に取り組み、試食会や白鯉祭での提供などを実施。活動はメディアにも取り上げられた。

【浜口ラボ】
海洋生物資源学部 先端増養殖科学科 4年
赤澤 瞬さん 小泉 晶さん

【若狭カキ研】
海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
4年 石田 律貴さん 2年 大下 賢実さん

北陸農政局主催「みどり戦略学生チャレンジ北陸大会」で、浜口ラボがサステナブル賞、若狭カキ研がみどり奨励賞を受賞。カーボンニュートラル養殖やブランドカキ開発などの取り組みが評価された。

福井戦後80年デジタルアーカイブプロジェクト
経済学部 経済学科 4年 雨宮 ゆめ さん 2年 高橋 凜 さん
経済学部 経営学科 2年 谷嶋 実空 さん 1年 佐藤 詩織 さん
生物資源学部 生物資源学科 2年 岩崎 日向 さん 山口 正人 さん
海洋生物資源学部 海洋生物資源学科 1年 横山 真大 さん
恐竜学部 恐竜・地質学科 1年 小響 駿人 さん 中森 智紀 さん
学生有志が福井空襲をテーマに調査・聞き取り・フィールドワークを実施し、成果をデジタルアーカイブとして公開。記憶継承の地域貢献活動として評価され、「地域貢献賞」を受賞。

教師と学生が知っておくべき教職入門



地域連携センター 國崎 大恩 教授 分担執筆
(北樹出版、2026)

教員とはどのような仕事なのか?社会的意義、職業的特徴、歴史から見た教師像、法令上の身分規定を概説し、現代における教育課題や問題解決のための支援・連携について解説する。

働く女の物語



共通教育センター 長岡 亜生 教授 共訳
(彩流社、2026)

『若草物語』の作者ルイザ・メイ・オルコットによる半自伝的小説。19世紀後半のアメリカ社会を舞台に、自立を求めて職を転々とし、南北戦争で看護婦として従軍するクリスティ・デヴオンの物語。家父長制社会に生きる、働く女性の姿を鮮やかに描き出す。本邦初訳。

クラブ&サークル紹介

CLUB & CIRCLE

かけがえない仲間と出会える魅力的なクラブ・サークルがたくさん!



アメリカンフットボール部



パラグライダー部



裏千家茶道部



アカベラ部 Tran-Baccano



男子アイスホッケー部



女子アイスホッケー部



アコースティックギターサークル部



映画サークル



恐竜サークル「DiNo」



写真部



軽音楽部



エシカルサークル



福井県立大学 よっしゃこい



ジャグリングサークル Jackal



福井県立大学 管弦楽部



ダブルダッチサークル Getchew



農業部



ダンス部 JEEZ



文芸部



剣道部



Open the Sesame

●永平寺キャンパス

- [体育系]
- ・アメリカンフットボール部
 - ・カバディサークル
 - ・弓道部
 - ・剣道部
 - ・サッカー部
 - ・女子アイスホッケー部
 - ・女子バレーボール部
 - ・水泳部
 - ・スノースポーツ部
 - ・ソフトテニス部
 - ・ソフトバレーサークル
 - ・ダブルダッチサークル Getchew
 - ・男子アイスホッケー部
 - ・男子ソフトボール部
 - ・男子バスケットボール部
 - ・男子バレーボール部
 - ・男子フットサル部
 - ・男女硬式テニス部
 - ・男女バドミントン部
 - ・ダンス部 JEEZ
 - ・バスケットボールサークル
 - ・パラグライダー部
 - ・ハンドボール部
 - ・福井県立大学 カヌー部
 - ・福井県立大学 軟式野球サークル
 - ・福井県立大学 よっしゃこい
 - ・陸上競技部

・チャレンジサポートサークル(CSサークル)

- ・つくみラボ
- ・七盤サークル
- ・日本遊戯振興会
- ・人間関係構築サークル
- ・農業部
- ・ハイキングサークル
- ・福井県立大学 管弦楽部
- ・福井県立大学クイズ研究会 FABRIQ
- ・福井県立大学 ジャグリングサークル Jackal
- ・文芸部
- ・Pokerサークル Exploit
- ・ボードゲームサークル
- ・星空サークル
- ・YOLOサークル

●小浜キャンパス

- [体育系]
- ・小浜キャンパス アイスホッケー部
 - ・小浜キャンパス アメリカンフットボール部
 - ・小浜パラグライダー部
 - ・球技サークル
 - ・ダンス部 JEEZ 小浜支部
 - ・バドミントンサークル
 - ・バレーボール部
 - ・ライフセービング部

[文化系]

- ・油絵部
- ・映画サークル
- ・おぼま水族館学生メンバーサークル
- ・音楽サークル
- ・軽音楽部
- ・美食サークル
- ・文芸サークル
- ・遊漁部

[文化系]

- ・AI研究会
- ・BBSサークル
- ・Open the Sesame
- ・アカベラ部 Tran-Baccano
- ・アコースティックギターサークル部
- ・朝活サークル
- ・裏千家茶道部
- ・エシカルサークル
- ・演劇部「劇団くらげ」
- ・オカルトサークル
- ・お笑いサークル FPU-O
- ・キッズボランティアサークル「れいんぼー」
- ・競技かるた部
- ・教職サークル
- ・恐竜サークル「DiNo」
- ・軽音楽部
- ・コミットサミット
- ・写真部
- ・書道サークル

●あわらキャンパス

- [文化系]
- ・スパイス研究会

●勝山キャンパス

- [文化系]
- ・勝山学祭実行委員会
 - ・北陸地学探求サークルTITAN

クラブ・サークル
情報はこちら



2026 SPRING
新任教員紹介



経済学部 経済学科

助教 **王天荷** おう てんか
専門分野/環境経済学
担当科目/環境経済学、応用経済学

環境外部性を考慮した土地利用課税に関する研究をしています。皆さんと一緒にグローバルな環境問題をローカルに繋げたいと思っています。



経済学部 経営学科

准教授 **杉村亮介** すぎむら りょうすけ
専門分野/国際経営、国際マーケティング
担当科目/国際経営論、経営学総論、導入セミナー、教養ゼミナール

多国企業海外市場攻略に関心があります。研究成果を着実に生み出し、みなさんと共有できるよう努めます。



生物資源学部 創造農学科

教授 **倉田源一郎** くらた げんいちろう
専門分野/地域農政学
担当科目/地域農政論

生産現場とのつながり、経験、人脈を活かし、ふくい農業の先端を行く生産者の農業経営や地域の現状を直接見聞きして、稼げる農業の展開や地域コミュニティの活性化に寄与する研究を進めます。



生物資源学部 創造農学科

准教授 **安井康夫** やすい やすお
専門分野/植物遺伝育種学
担当科目/育種学I

世界の作物遺伝育種研究で得た知見を福井の教育と農業に活かし、みなさんと新しい価値を創ります。



海洋生物資源学部 海洋生物資源学科

准教授 **井桁庸介** いげた ようすけ
専門分野/海洋物理学、水産海洋学
担当科目/大気海洋学概論、海洋環境工学、沿岸生態工学、海洋生態工学

海流の変動と、それによる水産生物の分布変化を、海洋調査やシミュレーションなどで研究していきます。



海洋生物資源学部 海洋生物資源学科

助教 **矢部いつか** やべ いつか
専門分野/海洋物理学
担当科目/環境水理学、海洋環境工学

海洋観測を通じて海の仕組みを理解し、みなさんと一緒に考え、学び、研究できることを楽しみにしています。



海洋生物資源学部 先端増殖殖科学科

教授 **村下幸司** むらした こうじ
専門分野/魚類栄養生理学
担当科目/養魚育成学

魚の食欲や栄養利用など体のしくみを解き明かし、養殖技術の発展に役立てます。一緒に未来の養殖を支えましょう。



看護福祉学部 看護学科

教授 **大谷昌弘** おおたに まさひろ
専門分野/内科学、消化器内科学
担当科目/臨床病態学I・II・III・IV、成人・老年保健学

看護と社会福祉の学びを通じ、専門領域から地域医療まで役立つ力を一緒に育てていきましょう。



看護福祉学部 看護学科

教授 **小林澄貴** こばやし すみたか
専門分野/公衆衛生学、疫学
担当科目/公衆衛生学、疫学、保健統計学、産業保健論、健康福祉学特論、保健医療福祉演習

労働環境を含む生活環境と疾病および健康との関連の研究を行っています。これから福井県や北陸地方での調査研究にも取り組みたいです。



看護福祉学部 看護学科

教授 **林祐一** はやし ゆういち
専門分野/神経内科学、老年学
担当科目/薬理学、微生物・免疫学、環境保健学、基礎看護学関連科目、健康生活科学特論

神経難病、ポリファーマシー・薬物有害事象に関する研究を行っています。



看護福祉学部 看護学科

准教授 **岡本智子** おかもと ともこ
専門分野/老年看護学
担当科目/セルフケア支援論、セルフケア支援演習

高齢者がその人らしく生活できる方法やサルコペニア、フレイル、認知症に関する看護研究に取り組んでいます。



看護福祉学部 社会福祉学科

教授 **大久保元正** おおくぼ もとまさ
専門分野/社会学
担当科目/社会問題論、社会理論と社会システム、社会調査の基礎、アンケート調査の設計と分析

近年は外国人労働者の問題を研究しており、福井でも引き続き取り組んでいこうと思っています。



看護福祉学部 社会福祉学科

助教 **吉岡夏紀** よしおか なつき
専門分野/ソーシャルワーク、精神保健福祉
担当科目/精神障害リハビリテーション論、精神保健ソーシャルワーク演習、精神保健ソーシャルワーク実習指導

ソーシャルワーカーとして大切にしてきた経験をもとに、理論と実践を繋ぐ学びを大切にしています。一緒に悩み、考え、成長していきましょう。



恐竜学部 恐竜・地質学科

教授 **藤田和彦** ふじた かずひこ
専門分野/微古生物学、古環境学
担当科目/科学英語、地球環境変動学、古生物学実験

小さな化石(微化石)を使って、福井から地球環境問題について発信していきたいと思ひます。



恐竜学部 恐竜・地質学科

教授 **村山雅史** むらやま まさひさ
専門分野/海洋地質学、層位学
担当科目/海洋地質学

地球46億年の歴史の中で生命は進化し、恐竜もその一部です。地層から手がかりを探り、その進化を解明しましょう。



恐竜学部 恐竜・地質学科

教授 **山田努** やまだ つとむ
専門分野/地質学、炭酸塩地球化学、洞窟学
担当科目/地質調査法実習I、地質図学、地球化学序論、地球年代学

化石・鍾乳石などの同位体比などを用いて過去の環境を研究しています。近年は鍾乳洞関連の研究も多く行っています。



恐竜学部 恐竜・地質学科

准教授 **鹿納晴尚** かのう はるまさ
専門分野/デジタル古生物学、博物館学
担当科目/デジタル古生物概論、博物館展示論

X線CTや3D計測などのデジタル計測技術で、古生物や文化財の研究をしています。DXを使った展示と一緒に作ってませんか？



恐竜学部 恐竜・地質学科

准教授 **林圭一** はやし けいいち
専門分野/地質学、微古生物学
担当科目/地質図学演習、地質調査法実習I、地球科学フィールド実習II

恐竜はどんな環境で生きていたのか？顕微鏡でみる小さな化石を通して、恐竜時代の環境を一緒に解明しましょう。



地域政策学部 地域イノベーション学科

教授 **朝倉由希** あさくら ゆき
専門分野/文化政策、アートマネジメント

故郷の大学で教育・研究に携われることを光栄に思ひます。文化芸術を通じ福井の持続的発展に貢献します。



地域政策学部 地域イノベーション学科

教授 **大木由美子** おおき ゆみこ
専門分野/経営理念、組織文化、企業倫理、経営者史、戦略論
担当科目/経営学入門

記者・編集者の経験を生かし、学生の好奇心を育みつつ福井の企業・産業を探究します。



地域政策学部 地域イノベーション学科

教授 **鈴木洋太郎** すずき ようたろう
専門分野/国際産業立地論
担当科目/経済学の基礎A(ミクロ)、経済学の基礎B(マクロ)

企業の海外進出など経済のグローバル化について、産業立地論の視点から研究しています。新学部での活動を楽しみにしています。



地域政策学部 地域イノベーション学科

教授 **宮町良広** みやまち よしひろ
専門分野/経済地理学・地域発展論
担当科目/初年次ゼミ

経済の地域間格差がなぜ生じるのか、地域が発展するにはどうすればよいのかを研究しています。高校と大学の連携にも取り組んでいます。



地域政策学部 地域イノベーション学科

准教授 **勝又悠太郎** かつまた ゆうたろう
専門分野/経済地理学
担当科目/地域イノベーション入門

地場産業の現代的な存立形態の在り方について研究しています。インドと北海道をフィールドとした研究も進めています。



地域政策学部 地域イノベーション学科

准教授 **宮崎友里** みやざき ゆり
専門分野/観光政策論、政策学、行政学、政治学

地域観光のあり方について、主にその背景を研究しています。新入生は大学での4年間、ぜひ貴重なひとときをお過ごしください。



国際センター

准教授 **吉住晃** よしずみ ひかる
専門分野/英語教育、英語スピーキング
担当科目/英語A,B,C,D、英語発展VI A, B

国際化社会に対応できる人材育成のため、英語で即興的に発信する力の向上を目指します。

